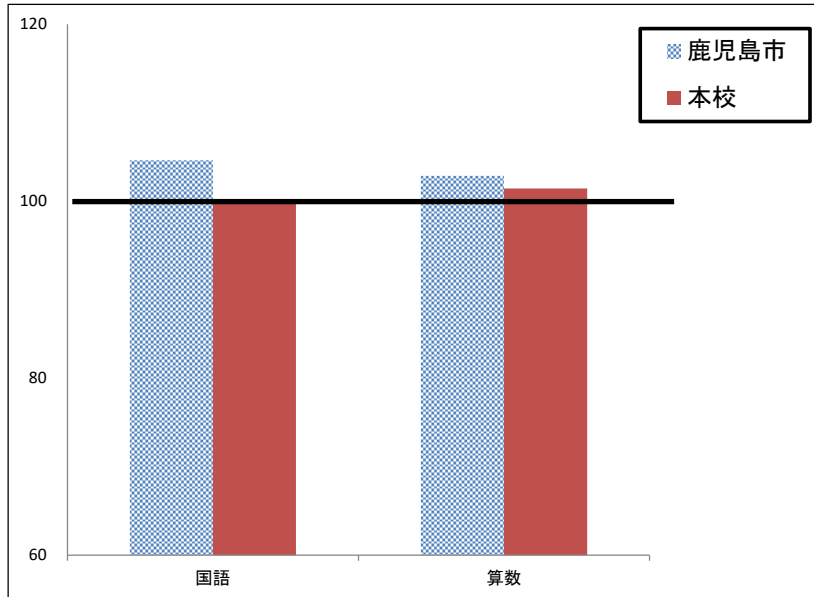


## 令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

### 1 学力調査の結果【100のラインが全国】



※令和3年度市全国・市平均通過率との比較

○ 全国の平均通過率と同程度の結果が出ている。しかし、鹿児島市の平均通過率よりやや低く、今後さらに、学力向上を目指した取組を継続させ、個々の力を高める必要がある。

#### (1) 結果からの課題

- 【国語科】目的や意図を明確にしなが、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する問題の正答率が低く、自分の考えを文章で表現する力の育成が必要である。
- 【算数科】面積の求め方を記述したり、帯グラフの複数のデータを比較し、その特徴と割合を記述したりする問題の正答率が低く、問題を把握し、データを整理しながら筋道を立てて考え、表現する力の育成が必要である。

#### (2) 学力向上に向けた取組

- 主体的・対話的で深い学びを目指す指導方法の改善・研究を推進
- UD（ユニバーサルデザイン）を大切にした授業や教室設営
- 3構え（身構え、心構え、物構え）の継続的指導を実践
- 無答0やテスト100点返却の学校全体での確実な実践
- 整合性のある「めあて」「まとめ」を含めた構造的な板書の工夫・改善
- プリント・テスト等の答え合わせ、訂正、見直しや単元末・領域別テスト等の繰り返し練習等児童の学習歴（ポートフォリオ）の活用を徹底
- 読書活動を推進する。（推薦図書の紹介、読み聞かせ等）※読書の量と質
- N I E教育の推進（新聞記事からの考察や自分の考えをまとめ発表する力の育成）
- WEB問題や過去問題の有効活用（基礎・基本の定着・多様な問題への取組）

#### (3) 質問紙の結果から

- 自分で決めたことはやり遂げるといよさを活かして、将来に対する目標を明確にさせ、主体的に活動する意欲の喚起につなげる必要がある。その方策の一つとしてキャリア教育の推進をしていく。
- 学力でも課題となった、自分の考えを発信する力の育成を踏まえて、学習活動のあり方を改善する。（ICT機器の活用推進、グループによる意見交換等）
- 主体的に学習した姿を賞賛する機会を多く設け、学習意欲を高めるとともに、家庭学習に対して計画的に取り組めるように、授業と家庭学習の連動を進める。